

2014年度第3四半期 決算説明会

2015年1月30日
株式会社村田製作所

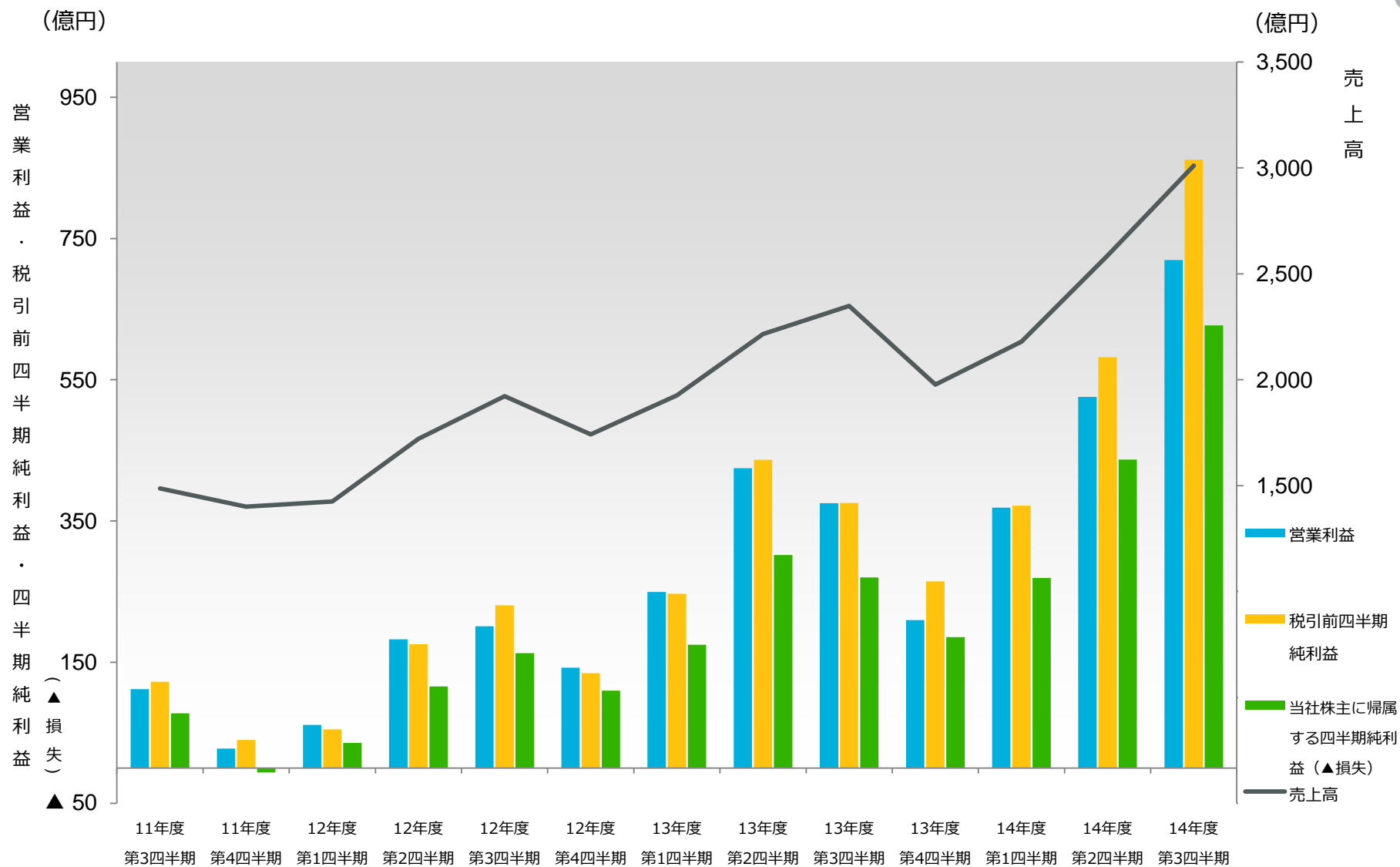


1. 2014年度 第3四半期業績概要

2014年10月～2014年12月
第3四半期連結会計期間

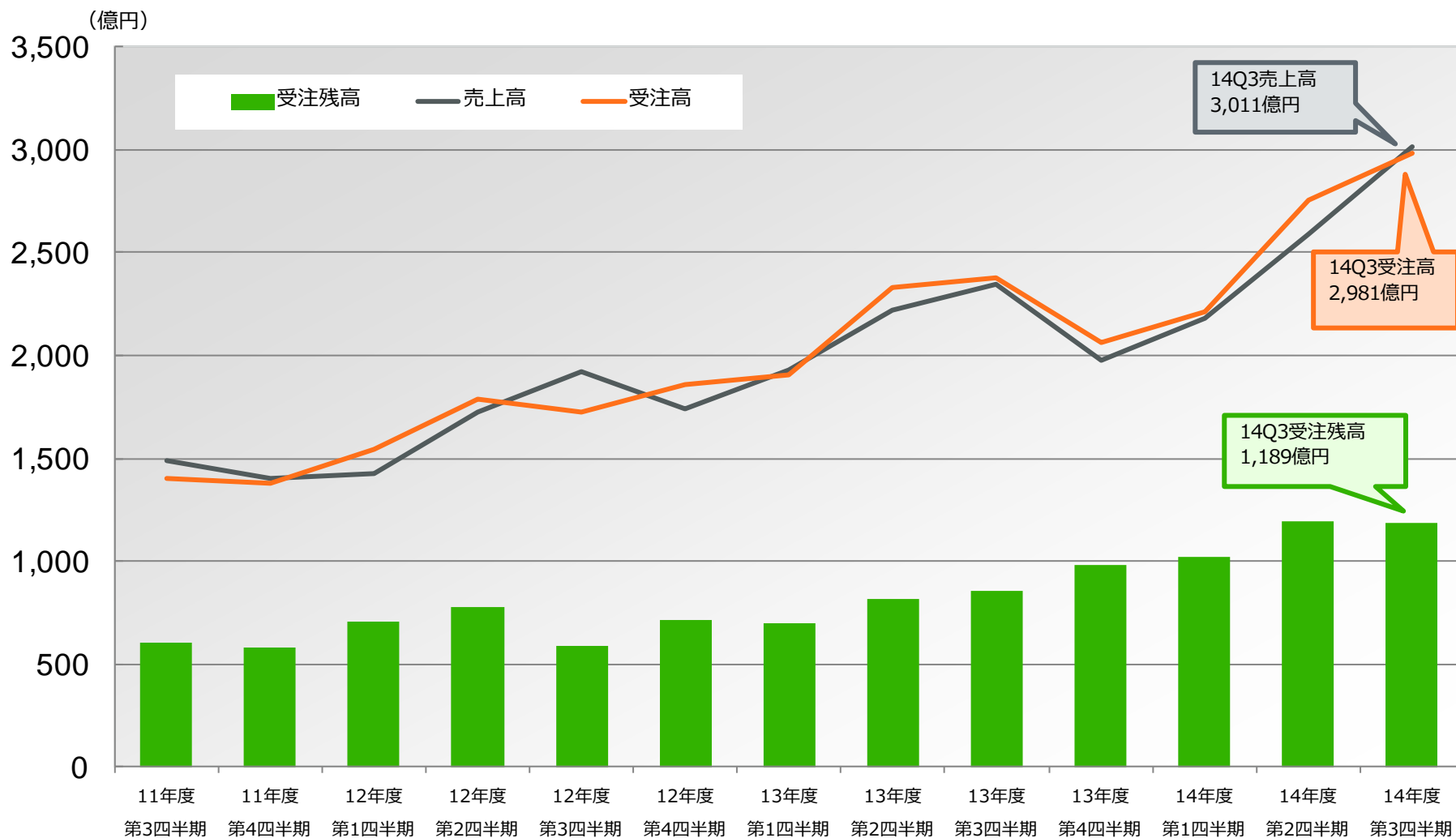
- スマートフォン、タブレット、自動車向けなど幅広い製品で需要が増加。売上高、営業利益、税引前利益、当期利益いずれも9ヶ月累計、四半期ともに過去最高を更新
- 通期の業績予想を上方修正。
売上高1兆100億円、 営業利益1,950億円、当期利益1,500億円と14年ぶりに過去最高の更新を見込む
- 期末配当金は1株あたり100円と20円の増配を予定

業績推移 [四半期]

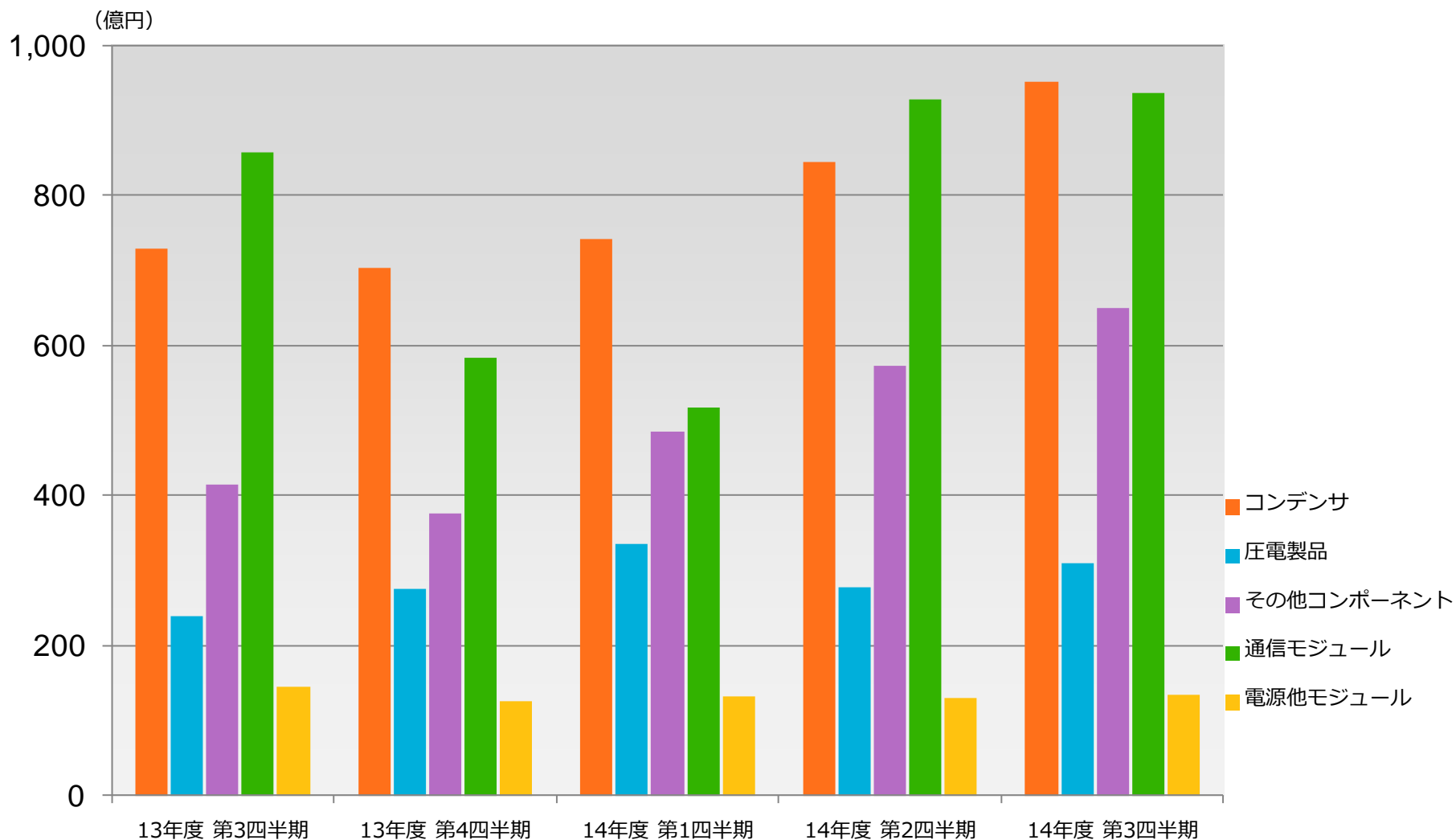


	2013年度 第3四半期		2014年度 第2四半期		2014年度 第3四半期		前年同期比 14Q3/13Q3		直近四半期比 14Q3/14Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	2,348	100.0	2,586	100.0	3,011	100.0	+663	+28.2	+425	+16.4
営業利益	375	16.0	523	20.2	720	23.9	+344	+91.8	+197	+37.7
税引前当期純利益	376	16.0	582	22.5	862	28.6	+486	+129.4	+280	+48.2
当期純利益	270	11.5	416	16.1	627	20.8	+357	+132.2	+211	+50.7

売上・受注・注残推移 [四半期]



製品別受注高推移



(注) 東光(株)の受注高は2014年度連結累計期間より「その他コンポーネント」に含んでおります。

製品別売上高

	2013年度 第3四半期		2014年度 第2四半期		2014年度 第3四半期		前年同期比 14Q3/13Q3		直近四半期比 14Q3/14Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	742	31.7	834	32.4	946	31.5	+204	+27.5	+112	+13.4
圧電製品	235	10.0	306	11.9	316	10.5	+82	+34.8	+10	+3.3
その他コンポーネント	425	18.2	565	21.9	647	21.6	+222	+52.1	+82	+14.5
通信モジュール	797	34.0	741	28.7	964	32.1	+166	+20.9	+223	+30.1
電源他モジュール	142	6.1	131	5.1	129	4.3	▲13	▲9.1	▲2	▲1.7
製品売上高計	2,341	100.0	2,578	100.0	3,002	100.0	+661	+28.2	+424	+16.5

(注) 東光(株)の売上高は2014年度連結累計期間より「その他コンポーネント」に含んでおります。

製品別売上高概況

[2014年度第2四半期→2014年度第3四半期]

<p>コンデンサ (直近四半期比+13.4%)</p>	<p>○チップ積層セラミックコンデンサ (MLCC) AV機器向けが低調も、スマートフォン、タブレット端末向けを中心に小型品・小型大容量品が伸長したほか、カーエレクトロニクス向けも好調</p>
<p>圧電商品 (直近四半期比+3.3%)</p>	<p>○表面波フィルタ 中国のスマートフォン需要の拡大およびLTE端末へのシフトにより拡大</p> <p>○発振子 水晶発振子がHDD、SSD向けに増加</p>
<p>その他コンポーネント (直近四半期比+14.5%)</p>	<p>○コイル 高周波チップコイルがスマートフォン向けで大幅に増加</p> <p>○コネクタ スマートフォン、タブレット端末向けで大幅に増加</p> <p>○EMI除去フィルタ スマートフォン向けに伸長</p>
<p>通信モジュール (直近四半期比+30.1%)</p>	<p>○近距離無線通信モジュール スマートフォン、タブレット端末向けで大幅に伸長</p> <p>○通信機器用モジュール 新製品の投入効果もあり、スマートフォン、タブレット端末向けで非常に好調</p> <p>○多層デバイス スマートフォン向け、基地局向けで好調</p>
<p>電源他モジュール (直近四半期比▲1.7%)</p>	<p>▲電源 家電向けが減少</p>

用途別売上高

	2013年度 第3四半期		2014年度 第2四半期		2014年度 第3四半期		前年同期比 14Q3/13Q3		直近四半期比 14Q3/14Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
A V	121	5.2	141	5.4	133	4.4	+12	+9.8	▲7	▲5.3
通信	1,225	52.3	1,361	52.8	1,736	57.8	+511	+41.7	+375	+27.6
コンピュータ及び関連機器	438	18.7	436	16.9	495	16.5	+57	+13.0	+59	+13.4
カーエレクトロニクス	307	13.1	357	13.9	366	12.2	+59	+19.2	+9	+2.4
家電・その他	250	10.7	283	11.0	272	9.1	+22	+8.8	▲11	▲3.8
製品売上高計	2,341	100.0	2,578	100.0	3,002	100.0	+661	+28.2	+424	+16.5

(注) 当社推計値に基づいております

用途別売上高概況

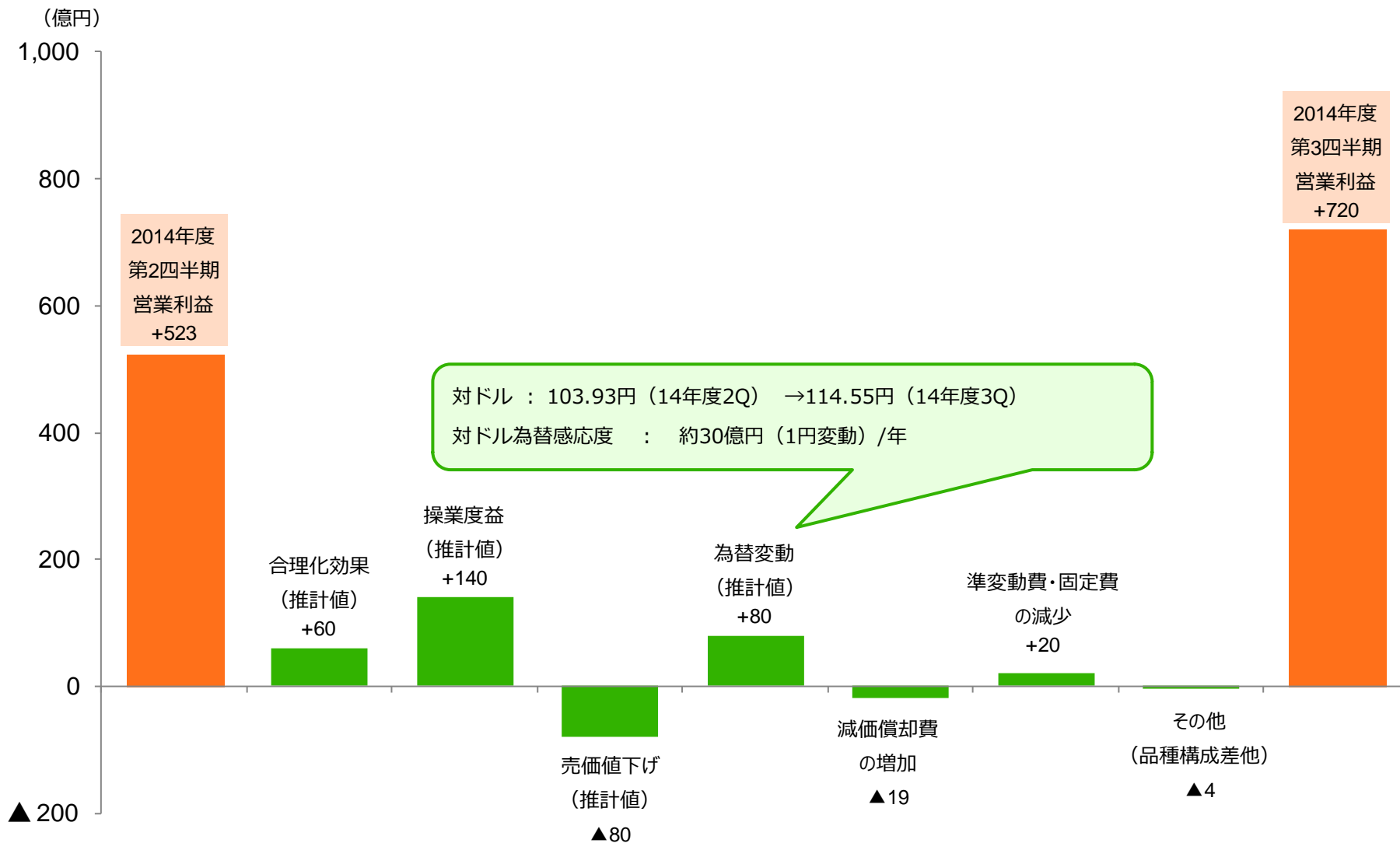
[2014年度第2四半期→2014年度第3四半期]

<p>AV (直近四半期比▲5.3%)</p>	<p>○ 近距離無線通信モジュールは、携帯メディアプレーヤー向けが増加 ▲ ゲーム機向けでMLCCが減少</p>
<p>通信 (直近四半期比+27.6%)</p>	<p>○ スマートフォン向けでLTE端末の生産台数増加により、近距離無線通信モジュール、通信機器用モジュール、小型品・小型大容量MLCC、高周波コイル、コネクタ、EMI除去フィルタなど、幅広い製品で大きく伸長</p>
<p>コンピュータ及び関連機器 (直近四半期比+13.4%)</p>	<p>○ タブレット端末向けで近距離無線通信モジュール、小型大容量MLCC等が大幅に増加 ○ ノートPC向けで小型大容量MLCCが増加 ○ HDD向けでアクチュエータ、圧電センサ（ショックセンサ）が堅調</p>
<p>カーエレクトロニクス (直近四半期比+2.4%)</p>	<p>○ 電装化の進展により、MLCCが伸長 ○ 車載ディスプレイ向けに近距離無線通信モジュールが増加</p>

(注) 当社推計値に基づいております

利益変動要因


[2014年度第2四半期→2014年度第3四半期]








2. 2014年度 業績予想

2014年4月～2015年3月

部品需要予測 (通期/通信)

	2013年度		2014年度予想		
携帯電話 合計	17.0 億台	→	17.9 億台	+5%	
2G	5.4 億台	→	4.2 億台	▲22%	
3G	8.4 億台	→	8.0 億台	▲5%	
LTE	3.2 億台	→	5.7 億台	+78%	
スマートフォン	10.6 億台	→	13.2 億台	+25%	

部品需要予測（通期/PC及び関連機器、AV）

	2013年度		2014年度予想		
PC	5.1 億台	→	5.2 億台	+1%	
デスクトップ	1.4 億台	→	1.3 億台	0%~▲5%	
ノートブック	1.7 億台	→	1.7 億台	0%~▲5%	
タブレット	2.0 億台	→	2.2 億台	+10%	
薄型TV	2.1 億台	→	2.1 億台	横這い	

製品別売上予想

	2014年度 通期予想 (前年度比)	2014年度 下期予想 (上期比)
コンデンサ	+17%程度	+12%程度
圧電製品	+21%程度	▲3%程度
その他コンポーネント	+40%程度	+12%程度
通信モジュール	+13%程度	+22%程度
電源他モジュール	▲2%程度	▲3%程度
製品売上高計	+19%程度	+12%程度

用途別売上予想

	2014年度 通期予想 (前年度比)	2014年度 下期予想 (上期比)
A V	+ 14%程度	▲ 3%程度
通信	+ 24%程度	+ 21%程度
コンピュータ及び関連機器	+ 13%程度	+ 6%程度
カーエレクトロニクス	+ 19%程度	+ 7%程度
家電・その他	+ 13%程度	▲ 5%程度
製品売上高計	+ 19%程度	+ 12%程度

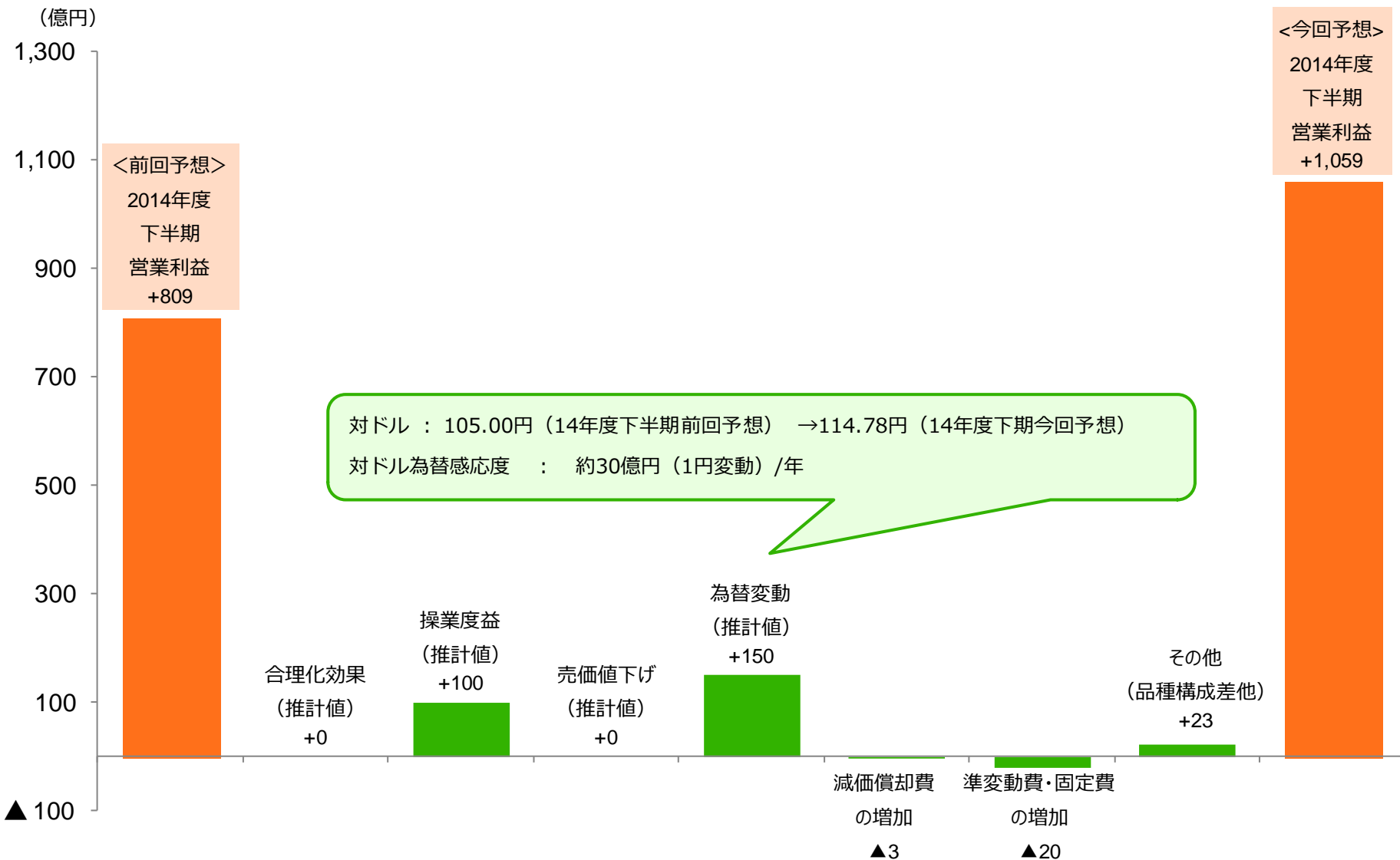
(注) 当社推計値に基づいております

2014年度 業績予想

	前回予想 (14年10月)			今回予想					
	上期実績	下期予想	2014年度 通期予想	上期実績		下期予想		2014年度 通期予想	
				(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	4,766	4,884	9,650	4,766	100.0	5,334	100.0	10,100	100.0
営業利益	891	809	1,700	891	18.7	1,059	19.8	1,950	19.3
税引前四半期純利益	953	797	1,750	953	20.0	1,197	22.4	2,150	21.3
当社株主に帰属する 四半期純利益	685	556	1,240	685	14.4	815	15.3	1,500	14.9

利益変動要因

[2014年度下半期前回予想→2014年度第下半期今回予想]



業績予想の前提

	2014年度 上期実績	2014年度 下期予想	2014年度 通期予想
減価償却費	383 億円	467 億円	850 億円
研究開発費	296 億円	334 億円	630 億円
設備投資額	447 億円	453 億円	900 億円
為替レート(US\$)	103.05 円/US\$	114.78 円/US\$	
為替レート(EUR)	138.91 円/EUR	139.05 円/EUR	

2014年度（2015年3月期）の配当（予定）

1株当たり年間180円

（中間配当80円／期末配当100円）

※期末配当を従来予想比20円増配

2013年度の配当実績

1株当たり年間130円

（中間配当60円／期末配当70円）

※当配当は現時点での事業環境予測及び業績予想に基づくものであります

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Thank you

